

やまなしの青少年

題字:大澤英二会長

社団法人 青少年育成山梨県民会議

〒400-0811 甲府市川田町517番地 山梨県立青少年センター内 電話:055-287-6415 FAX:055-237-5312

URL <http://www.eps1.comlink.ne.jp/~ikusei> Mail ikusei@eps1.comlink.ne.jp



目次

県民会議第31回通常総会	1
●青少年・青少年育成 功労者等表彰	
●自主活動表彰受賞者紹介	2
平成21年度 夏の青少年生活指導の手引き 地域で育てる青少年	3
シリーズ 「子ども・若者の底力を信じて」 青少年が主体となった地域活動を紹介	4・5
ルポ・健やかに育て山梨の青少年 「青年の船」参加者の今の活躍	6
●市町村民会議紹介	
●青少年育成講師派遣事業	7
●投書欄「読者の声」 ●県民会議会員募集 ●県民会議活動報告 ●編集後記	8

第31回通常総会の概要

平成21年5月21日、甲府市川田町の山梨県立青少年センターにおいて、(社)青少年育成山梨県民会議の第31回通常総会が開催され、約160名の会員の皆さんが出席しました。

開会に当たり、始めに大澤英二会長があいさつし、次に来賓の山梨県教育長の松土清教育長から来賓あいさつがあり、続いて出席された参与の方々を紹介されました。

その後、総会議長に立川隆章氏を選出し、議事の審議に入りました。

第1号議案の平成20年度事業実施報告及び収支決算報告について、第2号議案の平成21年度活動方針と重点目標(案)、同事業計画案及び収支予算案についての両議案がそれぞれ満場一致で承認され、続いて第3号議案、「青少年バスの購入」と「定款の改正」についても満場一致で承認されました。

続いて、総会関連事業として青少年や育成指導者等に対する表彰式が行われ、最後に(社)青少年育成国民会議の上村文三副会長による「青少年育成運動のあるべき姿」と題した講演があり、第31回通常総会を終了しました。

青少年・青少年等功労者の表彰式が開催される

善行表彰に坂口政俊さん



講演 『青少年育成運動のあるべき姿』



（社）青少年育成国民会議 上村文三副会長

かみむら ぶんぞう

- 現職 社団法人青少年育成国民会議副会長(平成10年5月～)
財団法人日本ユニセフ協会理事 財団法人あしたの日本を創る協会常任理事
- 略歴 世界青年会議所日本委員会事務局長 社団法人青少年育成国民会議事務局長
社団法人青少年育成国民会議専務理事 前流通経済大学講師
- 政府委員等歴 元文部省社会教育審議会委員 元文部省ユネスコ国内委員会委員
元文部生涯学習委員会特別委員 元総理府青少年問題審議会専門委員
- 賞罰 平成8年外務大臣表彰
- 著書 『「いじめ」その要因と対応策』 『現代リーダーシップ論』
『がんばれ子供、若者たち』 『青少年育成運動推進者の手びき』(平成16年3月)ほか
- 出生地 鹿児島県

「青少年・青少年育成功労者等の表彰」被表彰者・団体一覧

善行表彰(青少年)

氏名	住所	所属団体	推薦者	表彰対象活動の概要
さがち まさとし 坂口 政俊	甲府市	青少年育成甲府市民会議	青少年育成甲府市民会議 会長	青少年ジュニアリーダーの代表として、会の運営や研修活動に意欲的取り組み、みんなをリードしている。地区の育成会行事にも参加し、祭りの模擬店に協力したり、子どもクラブ指導者となり、小中学生の指導にあたった。

自主活動表彰(青少年団体)

団体名	住所	代表者	推薦者	表彰対象活動の概要
特定非営利活動法人 みのぶジュニア コーラス	身延町	山本晴美	県ボランティア協会会長	平成8年発足以来地域に根を張る子どもたちの居場所、育成の場として小中学生の音楽活動団体をめざし活動してきた。地域発「愛と平和」をつなげる音楽活動として全国で活躍している。また合唱を通して心豊かな子どもたちが育ち、命を大切に生きる力を育てている。

育成指導表彰(青少年指導者)

氏名	住所	所属団体	推薦者	表彰対象活動の概要
かさい いさお 笠井 勲	甲府市	県子どもグループワーク 研究会	県ボランティア協会会長	県職員として勤務する傍ら、青少年健全育成のため47年間活動を継続し尽力してきた。ボランティア協会専門部会等で活躍している。現在は子どもグループワーク研究会会長として県下の子どもの指導者の育成のため尽力している。
ひらが たけいこ 平賀 武彦	中央市	ボーイスカウト甲府第6団	ボーイスカウト山梨連盟 理事長	昭和58年から3年間に亘ってボーイスカウト甲府第6団副団委員長、同61年から11年間に亘って同団のボーイ隊長、また、平成9年から1年間同団のボーイ隊副長、さらに平成10年から現在まで同団のベンチャー隊長を務めるなど、26年の永きに亘ってボーイスカウト教育を展開し、社会に有為な人材を輩出してきた功績は大である。
やまだ いさむ 山田 勇	北杜市	北杜市スポーツ少年団	青少年育成北杜市民会議 会長	昭和50年から33年間余の永きに亘って野球スポーツ少年団指導者として青少年の健全育成に取り組んできた。近年は野球だけではなく伝統文化体験活動などを積極的に先行し、社会に有為な人材を輩出してきた功績は大である。
やまだ やすお 山田 康夫	昭和町	青少年育成昭和町民会議	青少年育成昭和町民会議 会長	子どもクラブの事業や学習活動を構築し、指導者として尽力された。また、子どもクラブ指導者連絡協議会会長として経験と力量を発揮し円滑な運営に尽力された。 現在、昭和町ワイークエンドスクールコーディネーターとして子どもの居場所づくりに献身している。
よした いちお 吉田 郁男	甲斐市	県二輪車安全運転推進 委員会	県二輪車安全運転推進 委員会委員長	原付指導員として、高校生の原付免許取得者に対して安全運転知識、技能の指導に尽力されている。また原付実技講習等における運転指導にあたって運転者として資質の向上に努め、安全運転を心掛けること、無謀運転をしないよう自己の人生経験を取り入れ指導に尽力されている。

育成指導表彰(育成功労者)

氏名	住所	所属団体	推薦者	表彰対象活動の概要
あさやま かつひこ 秋山 勝彦	富士吉田市	県青少年育成 カウンセラー会	県青少年育成 カウンセラー会会長	平成16年から青少年育成カウンセラーとして豊かな教育経験と厚い信念により家庭、学校、地域の緊密連携を図りつつ青少年健全育成活動に尽力している。平成17年から県青少年育成カウンセラー会理事・幹事として会の運営に中核を担い尽力している。
うちだ えつお 内田 悦男	南アルプス市	青少年育成桐形地区区 民会議	青少年育成南アルプス市 民会議会長	子どもクラブ指導者、高校生保護者会長を務め、青少年育成推進員として8年間尽力した。青少年育成桐形町民会議副会長を経て平成17年より地区民会議会長、市民会議会長を兼任し組織の拡充、青少年育成に尽力した。
けんもち たけのり 剣持 武範	甲府市	県青少年育成 カウンセラー会	県青少年育成 カウンセラー会会長	平成16年から青少年育成カウンセラーとして家庭、学校、地域の緊密連携に努め、自治会主体の見守り隊を結成し、地域ぐるみで子どもたちを守るシステム構築を実現させ県下各地に広げた功績は多大である。 平成18年から県カウンセラー会理事として会務発展に尽力すると共に相互の連携とカウンセラーの資質向上と相互連携のために積極的に取り組んだ。
さいとう まさなお 斉藤 政尚	山梨市	山梨市青少年育成市民 会議	山梨市青少年育成市民 会議会長	永年に亘り、日下部警察署少年補導員として青少年の非行防止活動と地域の安全・安心な街づくりに指導力を発揮し、その適切な指導・助言は青少年の健全育成活動と地域の環境浄化に顕著な功績を残している。 平成17年から補導員会長として会の発展に尽力され、地域住民からの信頼も厚く、他の模範となっている。
さの たつみ 佐野 辰巳	南部町	青少年育成南部町民 会議	青少年育成南部町民 会議会長	小中学校PTA・子どもクラブ育成会活動等永きに亘り青少年育成活動に尽力された。平成13年からは青少年育成南部町民会議副会長を経て会長を歴任し、合併後の新組織作り、連携協力体制など積極的に取り組み、町全体で青少年の健全育成活動に取り組むよう尽力された。
しむら のりみつ 志村 徳光	都留市	青少年育成都留市 民会議	青少年育成都留市 民会議会長	青少年育成カウンセラーとして地区育成会の活動強化に尽力し、その後青少年育成市民会議の総務委員長として、卓越した知識と経験により青少年育成市民会議が実施する様々な施策を積極的に推進し、青少年育成活動に尽力している。
たなか こうたろう 田中耕太郎	南アルプス市	青少年育成南アルプ ス市民会議	青少年育成南アルプ ス市民会議会長	子どもの地域教育に関心をもち、子どもクラブ指導者として活動し、旧甲西町教育委員を務め、教育全般に対する情熱、知識、行動が認められ、教育委員長に就任した。また、地域の青少年は「市の宝」という観点から市民会議副会長としてボランティア精神で学校、地域、家庭の連携をより強化して組織の充実尽力した。
なかざわ げいのすけ 中澤 恵之助	北杜市	県青少年育成 カウンセラー会	県青少年育成 カウンセラー会会長	平成13年から青少年育成カウンセラーとして教員生活で培った豊かな経験を生かして不登校児への支援を学校と連携し積極的に行動し、長坂町の不登校児解消に尽力した。平成17年からは県青少年育成カウンセラー会幹事、副会長として本会運営の中核を担い、事務局移転問題など豊かな経験と高い識見を生かして尽力している。
なむら としお 中村 俊男	甲州市	青少年育成甲州市 民会議	青少年育成甲州市 民会議会長	平成8年から2年間青少年育成カウンセラーとして青少年の健全育成に尽力した。 平成12年から青少年育成塩山市民会議会長として、その後平成18年から青少年育成甲州市民会議会長として8年間に亘り活躍し、青少年の健全育成に尽力された。
もちづき りきお 望月 力夫	身延町	青少年育成身延町 民会議	身延町青少年総合対策 本部長	永年の教員生活で培った高い識見と豊かな経験を生かし身延町本町青少年健全育成活動の要として尽力している。 平成14年から青少年育成身延町民会議副会長に就任して町民の青少年育成活動の重要性の意識高揚と共通認識確立に尽力された。平成18年から町民会議会長として青対本部と町民会議との真の連携と機能充実のため検討委員会を立ち上げた。

育成指導表彰(育成団体)

団体名	住所	代表者	推薦者	表彰対象活動の概要
ボーイスカウト 甲府第6団	甲府市	ボーイスカウト甲府第6団 委員長 春日雄二	ボーイスカウト山梨連盟 理事長	ボーイスカウト甲府第6団は、1968年(昭和43年)発足当初は救世軍甲府教会を育成母体にその後、甲府市南西部の有志による組織を育成母体に、甲府市南西部及びその周辺を活動地域として、40年間スカウト教育を中心に青少年の健全育成に努め、1,000人を超える有為な人材を輩出してきた功績は大である。

地域で育てる青少年

7月の訪れとともに、長い夏休みがやってきます。青少年の主な活動は、学校を離れ、家庭、地域へと移ります。保護者や地域の皆様方には、力を合わせ、子どもたちの生活をしっかり見守り、時には厳しく、時には優しく接しながら見守りください。青少年が豊かな人間性や社会性を身につけ、楽しい思い出ができますよう気軽に参加できる活動の場や活躍の場を設け、青少年の健全な育成に努めましょう。

スローガン 広げよう あいさつ 声かけ 仲間の輪!

- | | | |
|--------------|--------------------------------|--|
| 重点
目
標 | 1 青少年一人ひとりの心の成長を支援しましょう | <ul style="list-style-type: none">・ 基本的な生活習慣と社会規範の定着を図りましょう・ 虐待の未然防止と相談活動の充実を図りましょう・ 未成年の喫煙・飲酒防止、青少年の薬物乱用防止の啓発運動を展開しましょう・ 性に関する正しい知識を普及しましょう・ 健康の保持・増進に務める取り組みを進めましょう・ 有害サイトへの「接続防止ソフト」の普及を進めましょう |
| | 2 青少年の地域活動を支援しましょう | <ul style="list-style-type: none">・ 幼子の遊び場づくりを推進しましょう・ 異年齢、三世代の交流体験活動を推進しましょう・ 子どもクラブなど青少年の体験活動の工夫と活性化を図りましょう・ 自然体験、ボランティア活動への積極的な参加を推進しましょう・ 地域の行事などへの参加を呼びかけ、文化や伝統の継承への場にしましょう |

■ 家庭での取り組み ■

青少年が心身共に健やかに成長し、自立した責任感のある大人となるためには、基本的な生活習慣や社会規範など身につけることが必要不可欠です。それは、家庭での生活の中で培われるため、家庭が果たす役割は重要です。

また、長い夏休みを迎え、青少年の生活は、家庭が中心となります。家族の一員としての自覚と責任ある行動を身につけ、家族の絆を深める機会としましょう。

- ◎ 家族そろって語り合う機会を多く作り、青少年に家族の一員としての役割を分担させ、自覚と責任ある生活をさせましょう。
- ◎ 家族がみんなで地域活動やボランティア活動に参加し、世代を越えてのふれあいを通して、人間関係を育み、社会参加への意欲を高めましょう。
- ◎ 青少年の悩みや心配事は、速やかに市町村や学校のカウンセラーに相談しましょう。
- ◎ 青少年がインターネットや携帯電話などによる有害サイトへの接続ができないよう「フィルタリングソフト」や「接続防止サービス」を利用しましょう。また、親子で「インターネットや携帯電話の使い方」を話し合い、正しく安全に使うためのルールを決めましょう。
- ◎ 子育て講座、研修会等に積極的に参加し、家庭の教育力を高めましょう。
- ◎ 新型インフルエンザなど感染症の予防のために、規則正しい生活、うがい、手洗いの励行など健康対策に家族全員で取り組みましょう。

■ 地域での取り組み ■

地域とは、青少年にとって同世代の仲間との人間関係を育む場だけでなく、世代を越えた交流を広げる場でもあります。近年、大人同士の交流の機会が減少し、地域内の人間関係が希薄になってきています。地域での活動は、「共に生きる力」「地域を愛する力」など様々な「力」を身につけ実践する貴重な場であり、夏は青少年が様々な活動に挑戦できる良い機会です。地域には、青少年が健やかに成長するために学校や家庭とは異なる教育力が期待されています。青少年自身が主体となって参画できる魅力ある地域活動を企画し、展開しましょう。

- ◎ 地域の人々とのふれあいを大切に、あいさつや声かけを広げ、温かい人間関係を築きましょう。
- ◎ 地域住民と青少年が協力し、ともに助け合える地域の行事や活動を計画し、青少年の社会参加の促進や相互の連携を図りましょう。
- ◎ 地域住民と関係機関や諸団体が連携を図りながら、青少年の非行防止、青少年の健全育成キャンペーン、有害環境浄化などの活動に積極的に参加しましょう。
- ◎ 青少年や保護者からの相談に迅速に対応し、関係機関との連携体制の充実を図りましょう。
- ◎ 地域住民、関係機関や団体は、青少年が安全に安心して活動ができるよう犯罪のないまちづくりの推進に取り組みましょう。
- ◎ 地域での学習会を充実させ、地域住民全体で青少年の健全育成のための具体的な取り組みを確認しましょう。

毎月、第1日曜日は、「家庭の日」、毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年の健全育成のために県民総ぐるみで普及、推進に努めましょう。

山梨県青少年総合対策本部
社団法人青少年育成山梨県民会議
各市町村青少年総合対策本部
各青少年育成市町村民会議

“もの作りに、スポーツに集中力を養え”

中央市青少年育成カウンセラー
原田 廣明

〈中央市キッズアカデミー〉

平成18年2月に「田富町」「玉穂町」「豊富村」が合併して「中央市」になりました。豊富で活動のあったキッズアカデミーが市内の全小中学校を対象として参加者を募集することになりました。その趣旨は、平成14年に始まった学校完全週5日制の実施の中で、週末の土曜日を利用して幅広く市の子どもたちに「自然体験・環境学習・勤労体験・スポーツレクレーション」等を提供するなかで、子どもたちの「自主性・協調性・忍耐力・社会性」等を豊かに養う機会とすることを目的に活動しています。

事業内容は、毎月1回～2回土曜日に計画をして実行しています。募集人員は25名程度で1年間を通じて参加できる人を募っています。この日は、子どもたちは保護者のもとを離れ、教育委員会の職員と共に行動をします。1年が終了する3月には卒業式をして参加者全員がお別れをするイベントもあります。



鎌沢町にある、つくたべかんで「みみ」を作って食べました



豊富の公民館において「プラ板作り」

「つくって」「たべて」「かんじて」ほしいという意味の「つくたべかん」では作り方を教えてくれる方の説明をしっかりと聞いた後、みんなで美味しく食べました。保護者のもとを離れ、多くの人と知り合い多くのことを見聞することは、成長期にある子どもたちには必要なことであり、とてもよい機会であったと思います。



豊富の公民館において、講師の先生の指導により、「クッキーづくり」をした

〈中央市子どもクラブ親睦球技大会〉

スポーツを通じて、健全な体と精神を養うとともに子どもクラブ員相互の親睦を深めることを目的として毎年夏に実施しています。男子はソフトボール大会、女子はミニソフトバレーボール大会を行います。市では各自治会の子どもクラブへ大会参加への募集をして、練習の日程や各競技の審判会議をもちます。

大会では猛暑をものともせず、子どもたちは保護者の応援のもと汗だくになって頑張ります。表彰式では市長より優勝・準優勝のチームには一人ひとりメダルをかけてもらいとても嬉しそうでした。



子どもや若者が主体的に取り組む社会体験や自然活動などを紹介します。

シリーズ 育てよう青少年

子ども若者の

「早川町の子ども達 ～スナッグゴルフ～」

早川町育成カウンセラー
望月 謙

今の早川町では、子どもクラブ・育成会を実施している地域がありません。人口の約半分以上が高齢者という状況だからです。今回は早川北小学校の児童が行っている「スナッグゴルフ」(以下SG)を紹介します。「ゴルフ人口を広げよう。野球やサッカーのようなメジャーなスポーツに。」という児童達の考え



でこのSGが始まりました。SGとは、軟らかいボールをクラブで打ち、マジックテープが張られているフラッグへ当てるというスポーツです。同校は2003年より全国初の講習会を行い、同年7月には全国大会出場し、10位という成績を収めてきました。5年後の2008年には関東甲信越大会において優勝という輝かしい成績を収めて、マスコミやメディアなどにも取り上げられ、今や主流なスポーツになりつつあります。SGをしていく中で、児童達が最も感激したことがあります。今年の3月に早川町の七面山や登山道入り口の滝で精神力を鍛える修行をしていた、プロゴルファーの諸見里しのぶ選手や江連忠コーチ、佐伯美貴選手ら8人が同校へ訪れ、ゴルフの指導をしてくださいました。同校の児童が諸見里しのぶ選手や上田桃子選手らが、練習の一環で七面山などを訪れるということを知り、児童達が手紙を出して今回実現しました。プロの選手に教わったことを活かし、6月5日から7日の3日間をかけて、SG全国大会へ出場します。

丹波山村「風の子キャンプ」

丹波山村教育委員会

清水善明

丹波山村は急峻な山岳に囲まれた集落の真ん中を、多摩川の源流(ミズヒ)から流れ出た丹波川が西から東に流れ、東京都の水がめ奥多摩湖へと注いでいます。

昭和40年代には、多くの異年齢集団の子供たちの水遊びや魚採りなどでにぎわっていました。今、少子化と過疎で子どもたちの数も減り続けて、昔ながらの子どもクラブのような異年齢集団の中でのさまざまな遊びのなかで子どもたちがたくましく育っていくという光景も見られなくなりました。

そこで、20年前から「風の子探検隊」というグループを作って、キャンプやスキーなど、また、丹波山村に古くからあった子どもたちの風習などを実施してきました。最近は、主に夏のキャンプと冬のスキーツアーを実施しています。昨年の「風の子キャンプ」

は、村内のキャンプ場で8月4日から6日まで2泊3日のテント生活を体験しました。対象は小学生の4年生以上ですが、中学生も食事の支度や、川遊びのサポートなどに参加しています。野外活動は、危険も伴いますが、20年間無事故で実施できたことはよかったですと思います。これからも、様々な体験活動をととして「元気で、くじけない丹波山っ子」の育成に取り組んでいきたいと思っています。



の主体的な活動

底力を信じて

みんなで
地域社会
づくりを考えて
いきましょう。

「団結・協力・頑張った球技大会」

山梨市青少年育成カウンセラー

佐藤哲夫

山梨市青少年育成市民会議では、「地域で育てよう子どもの未来!」を活動方針に掲げ、体育及びレクリエーションを奨励する活動を行っています。

地域の子どものたちの異年齢集団が、球技大会やレクリエーションに参加することによって豊かな心と生きる力を育てる。共に助け合い協力し合うことを通して、生きるための基礎的な資質(コミュニケーション能力、礼儀、感謝、決まりを守る等)の向上を図ることをねらいとして、8月上旬に球技会を開催しています。

平成17年度の市町村合併により、牧丘地区・三富地区の子どもたちも加わり全市をあげての球技会になりました。

20年度は、7月下旬に山梨市の各地区予選会を行い、8月上旬に山梨市民体育館をメイン会場にし

て、地区予選で勝ち上がったミニソフトバレーの部に男子7チーム、女子10チーム、またチーム数こそ少なかったけれど男子ソフトボール3チームも参加し、優勝をめざして頑張りました。

小中学生合同のチーム編成であるため、中学生がリーダーシップを取りながら小学生にやさしくアドバイスやフォローするなど真剣な中にも終始笑顔があふれ、小学生・中学生が仲良く協力して試合に臨んでいる姿がとても印象的でした。



「青年の船」参加者の今の活躍



▲豊岡正仁氏

「さあさあお立ち合い、ここに並んだみごとなバナナ、そんじょそこのバナナとは訳が違う、さあお立ち合い。……」威勢の良い

口上と、思わず目を引く身振り手振り。まるでフウテンの寅さんかと思うような、バナナのたたき売りを見事におこなっているのが、今回紹介するこの人物、豊岡正仁(芸名・南郷 力丸)さんです。バナナのたたき売りの他にも、ガマの油売り、フーテンの寅さん等、多芸多才にその場を盛り上げる達人でも



あります。

豊岡さんの本業は、テキ屋ではありません。実は不動産業で、ABCホームズという会社の社長さんです。たたき売りなどの芸を披露するのは、豊岡さんが関わる青年や壮年の集まり、特に外国からの方を日本に受け入れて、パーティーやミーティングを行うときに、その本領が発揮されます。最初は何が始まるのかとおそろおそろ見ていた人たちも、その動作や言い方の面白さ、周りの人々がついつられて身を乗り出す様子に、安心感と、何とも言えない暖かさを感じて、いつのまにかその中に溶け込んでしまいます。言葉や、生活習慣が違う外国からの人々も、思わず引き込んでしまう、そんな魅力が豊岡さんの芸にはあるようです。

豊岡さんは、1979(昭和54)年の当時の総理府が主催した「青年の船」に、山梨県から選ばれた代表メンバーとして、全国からの336名の方々とインド、スリランカ、クエート、パキスタンの各国を訪問し、現地の青年達と話し合い、船の生活を共にして、広く世界の若者と生きてゆく中で世界平和やより良

い地球を創り出すことの大切さを肌で感じたといえます。実は、もう30年も連れ添っている奥さん、陽子さんも、このときに大阪府からの代表としてこの船に乗っていたメンバーで、豊岡さんのこの熱い思いに共鳴して、とうとう山梨の人になったといういきさつがあるそうです。豊岡さんには2男1女のお子さんがいますが、みんな「青年の船」(今は、「東南アジア青年の船」と「世界青年の船」)に応募して、見事に山梨県代表として船に乗り、今では両親以上に世界の青年達と広く交流を行っています。

帰国してからも、豊岡さんの山梨県の国際化に貢献しようという気持ちは大変強く、1983年から1990年までの山梨県青年海外派遣の会の会長を務め、この会の活動を通じて、山梨県の青年達が国際的な活動や考え方に目を向けることによって、幅広い視野や世界平和の心、違いや偏見を乗り越えて多文化共生の心や行動を培うことに努めてこられました。もちろん奥様もこれに共に参加し、現在では山梨県IYEO(国際青年交流機構)に引き継がれているこのグループの顧問、相談役として、外国からの青年達の受入、山梨県の青年達の海外派遣に精力的に取り組んでおられます。

みなさんも、ひょっとしたら、どこかで「さあさあお立ち合い」の威勢の良いかけ声と共に、外国の青年達と笑い合っている豊岡さんを見かけることがあるかも。

(青少年委員会委員長 大和田浩二)



【ルポ欄にご紹介を】

本誌では、活発に社会活動を行っている青少年や、青少年育成活動を展開している人々を、連載ルポ「健やかに育て山梨の青少年」で紹介しています。読者の皆さんからの情報をお待ちしています。

地域を支える市町村民会議 ～そのプロフィール～

韮崎市民会議

【会長】 清水 一 氏
 【設立】 昭和44年3月10日
 【会員数】 各種団体・機関の長40名と
 その関係者
 【事務局】 韮崎市水神1-3-1
 韮崎市教育委員会内



清水 一 会長

【目的】 青少年問題のもつ重要性にかんがみ、広く市民の総意を結集し、市の施策に呼応して、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

【青少年への期待】 人との対話を重視した様々な生活体験や自然体験をとおして、豊かな人間性を育ててほしい。

【地域の大人へ】 青少年が、健やかで他人を思いやる心を育て、社会性や道徳性等豊かな人間性を培うことができるよう、学校・家庭・地域社会が連携し青少年の育成に取り組んでほしい。

- 【事業の概要】
- ① 青少年教育研修会の開催
 - ② 社会参加活動の実施
 - ③ 有害図書撲滅キャンペーンの実施
 - ④ 立志式の実施
 - ⑤ 親子ふれあいづくり事業の実施

【今後の目標】 青少年関係団体の育成と指導者の養成に努めるとともに、青少年健全育成関連機関との更なる緊密な連携、協調を基本とし、青少年教育を推進する。

西桂町民会議

【会長】 高尾 一男 氏
 【設立】 平成8年4月1日
 【会員数】 86名
 【事務局】 西桂町下暮地937-4 西桂町教育委員会 社会教育係内



高尾 一男 会長

【目的】 「地域の子どもは地域が育てる」・「大人が変われば子どもも変わる」を基本理念とし、「家庭・学校・地域社会の連携による教育」を長期にわたり模索し継続していく必要性があると考え、広く町民の総意を結集し町の施策に呼応して、次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的としています。

【青少年への期待】 次世代を背負い、輝かしい未来を担っていく青少年が、それぞれの個性を最大限に発揮し、豊かな人間性と社会性を身につけながら、自立してたくましく成長していくことを期待します。

【地域の大人へ】 未来に希望を抱いて自立を目指す青少年が、次世代を担い手として個性や能力を発揮し、未来の町づくりの中心となって活躍できる環境を整備していくことが必要だと考えます。そのためにも、家庭・地域における大人のあり方を見直し、大人の責任として、青少年を取り巻く社会環境を健全化し、社会規範意識を高めていくことが重要であると考えます。

- 【事業の概要】
- ① 広報誌「広報にしかつら」
 - ② 交通安全教室
 - ③ 職場見学
 - ④ 夏休み体験教室
 - ⑤ ちっぴりレクリエーション大会
 - ⑥ 夏休み青少年育成啓発パトロール
 - ⑦ 青少年を健全に育む会
 - ⑧ 家庭教育セミナー
 - ⑨ 子ども110番の家訪問
 - ⑩ 声かけあいさつ運動
 - ⑪ いきいき西桂標語コンクール

【今後の目標】 青少年活動の主役は青少年自身であり青少年が自ら取り組みを起こさなければ健全育成を図ることはできないと考えます。また、大人には、青少年が豊かな体験を育み、積極的に社会に参加していくことができるような条件を整備し支援していくことが求められます。青少年育成西桂町民会議の活動を多くの方々に知っていただき、多数の方々の賛同を得ながら青少年の健全育成を目指して行きます。

例えばこんなとき...

- 子どもに様々な活動を体験させたい。
- 遊び教室や自然観察会を、専門の指導者に依頼したい。
- 活動がマンネリ化しているので、新しい活動を取り入れてみたい。
- 講師を依頼したいが、予算がない。

(社) 青少年育成山梨県民会議の **「青少年育成講師派遣事業」** をご利用下さい

派遣の流れ

講師名簿から指導を受けたい講師に直接連絡
(イベント開催日時、指導内容等をご相談下さい)

講師の内諾をとり、申請書を県民会議へ郵送
(内容を審査し、派遣決定を行います)

講師への謝礼は当県民会議が支払ます

実績報告書を県民会議へ郵送
 写真を必ず添付

イベントの開催
専門の講師が丁寧に指導します。

書類提出先：〒400-0811 甲府市川田町517 山梨県立青少年センター内 (社) 青少年育成山梨県民会議

読者の声 私はこちら思う

子供の背を見て — 一言 —

今年は、「観空大(カンクウダイ)教えてね。」「お父さん大丈夫?」「覚えられる?」頑張るよ 優勝目指すんだから、と家族の会話。「おかあさん まだ覚えられない?」「そんな足ではだめ」「これでいい?」「恥ずかしい」新道場生家族の会話。

道場内大会では、ファミリー部門がある、親や祖父母が子供に空手を教えられてファミリーで参加します。ややもすると、ダメだ、下手だ、もっと頑張れとお尻を叩く親が、子供から教えられて試合に参加し、子供の大変さが、解ったとの感想、家族の会話が少なく指摘されている昨今、道場内大会を通して会話し、子供と一緒にマットの上で戦い、お互いを理解し合えるこの体験は、ほのほのとして、多くの家族が刺激し合ういい機会です。

「大人の背を見て育つ」子供も、「子供の背を見て育つ」親も共にとても大切な事だと感じています。体験を通す意義を、あらためて実感しました。いろいろの場面をとらえて、子供を理解する体験を増やして欲しいと思います。

(都留市・佐藤秀子)

読者の声欄に投書を

本誌では、青少年の健全育成について読者の投書欄を設けています。下記まで郵送またはFAXでお送り下さい。

〒400-0811 甲府市川田町517

山梨県立青少年センター内

(社)青少年育成山梨県民会議 「やまなしの青少年」担当

FAX 055-237-5312

会員を募集しています

(社)青少年育成山梨県民会議とは

山梨の次代を担う青少年の健全育成のため、県民が一致協力して活動に取り組むことを目的に発足した「青少年育成県民運動」(総合対策本部長、県知事)の推進母体です。

この活動は会員の皆さんの会費と、山梨県及び青少年育成国民会議からの補助によって支えられています。青少年の健やかな成長のため会員になって運動をご支援下さい。

会員には正会員と賛助会員があります。

正会員

当会議の目的に賛同し協力していただく個人、団体の皆さんです。会費は、個人会員に2,000円、団体会員に3,000円をお願いしています。正会員は総会における議決権を有します。また、種々の事業に参加していただくこともできます。広報誌「やまなしの青少年」(年3回、各3万部発行)をお送りします。

賛助会員

当県民会議の目的に賛同して篤志寄附(賛助会費)をしていただく個人・企業・団体の皆さんです。賛助会費は年額1万円(一口)以上をお願いしています。広報誌「やまなしの青少年」にお名前を掲載し、同誌をお送りします。

本年度の会費をまだ納めておられない方、納入をよろしくお願ひします。郵便振替で次の口座に振り込んで下さい。また、お電話をいただければ振替用紙をお送りします。

00430-1-4310 (社)青少年育成山梨県民会議

◎お問い合わせ先

(社)青少年育成山梨県民会議事務局

(山梨県立青少年センター内) TEL 055-287-6415

社団法人青少年育成山梨県民会議の主な活動

県民の皆さんのご好意により納めていただいた会費は、青少年の健全育成・非行防止の推進、また、運動の活性化を目的とした次のような事業に使わせていただきます。

1 各種大会の開催

- ・少年の主張山梨県大会開催・表彰(最優秀者を全国大会に推薦)
- ・青少年健全育成推進大会(11月に開催。シンポジウム、功労者表彰等)
- ・青少年の非行問題に取り組む県民大会(7月に開催。講演等)
- ・青少年健全育成街頭キャンペーン(県内各地で実施。関係団体等参加)
- ・当会議の事業運営に係わる総会・理事会・専門委員会・各種連絡会議等

2 青少年育成関係団体との連携・協力による健全育成活動の展開

3 「家庭の日」「青少年を育む日」推進ポスター募集・優秀作品表彰

4 「家庭の日」「青少年を育む日」推進カレンダー作成・配布

5 講師派遣事業

(市町村民会議等の活動を支援するため講師を派遣)

6 有害図書類追放運動

(運動推進啓発冊子・パンフレットの作成・配布等)

7 白ポストの設置

(有害図書類等回収のためJR駅等に設置・管理等)

8 青少年・青少年育成功労者等表彰

(善行青少年や育成功労者等を表彰)

9 広報誌「やまなしの青少年」の発行

(年3回発行、8ページ、1回3万部)

10 青少年バスの貸し出し

(青少年活動に対して、マイクロバス貸し出し)

11 啓発ビデオテープの貸し出し

(育成活動のためのビデオ等貸し出し。30本)

12 その他

編集後記

オバマ米国大統領の「地球上から核兵器をなくそう」という呼びかけが、今、世界の各国で大変な話題になっているそうです。「核保有国からの提案」として、これから各国へ波及していくと言う期待感が、世界を駆けめぐっていると言っても良いのではないのでしょうか。

一方、世界同時不況の原因と言われている「マネーゲーム」とやらも米国が震源地と言われていて、今の日本経済大打撃の張本人だとのことでもあります。この種のことは高見の見物といきたいのですが、特に、青少年育成運動へも不況風を吹き込み深刻な影響が出ていて、まさかの国民会議解散という最悪のシナリオの展開になっています。とは言っても、日本の将来を担う青少年に対して、現在の青少年育成運動に携わる我々としては、こうした事態を放っておく訳にはいきません。たとえ世界同時不況であっても、いやこつした時代こそ身体を張ってでも、青少年たちへの悪影響回避を守り抜かなければならぬと考えます。

ときあたかも、県民会議事務局が県立青少年センターへ移転し、4月1日から42年振りに心機一転スタートし、「やまなしの青少年」62号が初仕事です。会員の皆様や青少年団体の方々が、立ち寄り易いオープンオフィスでの愛される「広報誌」を目指しています。世界同時不況のこの正念場、共に協力して暗くなりがちな事態を切り開きましょう。どうぞよろしくお願いいたします。